

あし

草

## 「人権」届いてなんぼ



高木智子

夕べに考える

「学校の授業で見てもらいたい。使いやすく分割しました」。そう言いながら、映画プロデューサー・鶴久森典妙さん(66)＝兵庫県西宮市＝が10月、出来たばかりのDVDを手渡してくれた。

DVDは映画「もういいかい」。人権侵害の象徴とも言われるハンセン病の隔離政策について、なぜ国際的な潮流から外れて日本だけが長く続いてしまったのか。国内外の当事者や関係者22人の証言を集め、その歴史をときあかす内容だ。

映画が制作された2年前、正統派のドキュメンタリーでわかりやすく、しかも高水準な作品に感嘆したが、143分の上映時間を懸念した。「貴重な証言は1秒も削れない」との説明を受けた。

その後、全国約30カ所で大映され、反響は上々だ。一方、「授業に使うには長い」「要約版が欲しい」と聞こえてきた。そこで、作品全体を5章に分類。テーマごとに20〜43分で視聴できるようにした。広く活用されるよう、使い勝手にも配慮し、解説とサブテキストも準備した。どんな秀作も、読んでもらってなんぼ、見てもらってなんぼ。伝える工夫と努力が、実を結ぶよう願う。

(編集委員)